



暮らしのかたちは変わっても
ふくしのころは変わらない

「いま」と「これから」の ふくし活動アイデア帳 【見守り活動 感染予防編】

～あなたに会えることを待っている人がいます～

社会福祉法人 登別市社会福祉協議会・きずな推進委員会



- ・本誌は、赤い羽根共同募金の支援を受けて、国が示す「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」や全国社会福祉協議会が示す「新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の進め方」等を参考に発行しております。
- ・あくまでもアイデアを掲載しているものであり、これらすべてを網羅しなければ活動を行ってはいけないというものではありません。

活動再開を検討する時期

1. 担い手同士で話し合う

担い手同士が感染予防を徹底し、少人数で集まるなどして、「一人ひとりが無理をせず、今できることはなにか」を話し合う。

2. 感染防止策などの正しい知識を担い手が身につける

マスク着用など厚生労働省から示されている感染防止策の効果とやり方を理解する。

3. 再開方法等を検討する

- ①「3密（密集・密接・密閉）」を避ける、手洗い・手指消毒等の基本的な感染防止策を行うなどしてなるべく感染リスクを下げる。
- ②活動頻度は、見守りが必要な高齢者等（要支援者）の課題や状況に応じ検討する。
- ③部屋への入室は極力控える。代わりに玄関や窓、インターホン越しの方法等が可能か検討する。
- ④短時間・効率的に行えるよう手順や方法を見直す。
- ⑤活動日に使用する消毒液やマスク等の備品・消耗品を準備する。
- ⑥訪問ルール（担い手が要支援者、その家族のいずれかの体温 37.5°C 以上もしくは平熱より 1°C 以上ある場合は行わない、手指消毒とマスク着用をお互いが徹底するなど）を定める。
- ⑦必要に応じ電話・手紙・メール等を活用する。

4. 感染の危険個所、場面などを確認する

新型コロナウイルス感染症は、接触感染（ウイルスが付いている箇所を触ったあと鼻や口等を触ることによる感染）と飛沫感染（せきや喋った時に出る水滴を吸い込むことによる感染）が主な感染経路。

訪問時、玄関ドアやインターホン等の手指が触れる箇所、対面する場面等をあらかじめ確認する。



活動を再開したら

5. 参加者が安心できるように配慮する

- ①感染防止策などを盛り込んだチラシ等を配布する。
- ②訪問時間を短時間にするために、チラシには訪問の趣旨や時間等を明記して協力を呼びかけることも有効。
- ③要支援者の希望にあわせて訪問は行わず、電話・手紙・メール等を活用してコミュニケーションを図る。

6. 訪問時気を付けること

- ①体調確認（発熱・息苦しさ・咳などの有無など）を行う。
- ②訪問者名簿を作成する。
- ③なるべく正面に立つことを避けるなど2m（最低1m）を目安に十分な身体的距離を保つ。
- ④会話をする際は、咳エチケットの徹底やマスク、フェイスシールド等の着用を行う。
- ⑤複数名で訪問活動を行う場合には、担い手間の距離も十分に保つ。
- ⑥訪問中も適宜手指消毒をする。
- ⑦適度な休憩と水分補給などを行いながら活動を行う。
- ⑧室内での活動となる場合は、1時間に2回以上換気（2方向の窓を数分程度全開など）をする。
- ⑨要支援者のささいな変化（物忘れ、同じことを繰り返し言う、開いていない段ボールが積まれているなど）に注意する。

7. 活動終了後

- ①活動終了後と帰宅後に手指消毒と手洗いを徹底する。
- ②要支援者の体調やささいな変化に気づいた場合は、民生委員・児童委員やケアマネジャー、社協等と共有する。
- ③担い手が体調の異変を感じた場合には、団体の責任者や社協等関係団体に連絡する。



社協の事業を活用ください

小地域ネットワーク活動



きずな安心キット等の配付を基本にした見守り活動により、訪問のしづらさの解消や要支援者の情報把握が可能になります。

まごころお届けプロジェクト



体操が掲載されるチラシを定期的にポストへの投函・配付することで要支援者の介護予防や間接的な見守りにつながります。

活動チェックリスト

活動前	<input type="checkbox"/> 活動前の担い手の体温測定(37.5℃以上もしくは平熱より1℃以上高い場合は参加不可)
	<input type="checkbox"/> 担い手にマスク着用、手洗い・手指消毒を徹底する。
	<input type="checkbox"/> 感染の危険箇所や場面等を確認する。
	<input type="checkbox"/> 訪問の方法や手順を確認する。
	<input type="checkbox"/> 訪問に必要な備品や消耗品を準備・確認する。
活動中	<input type="checkbox"/> 対象者の体調確認(発熱・息苦しさ・咳の有無など)を行う。
	<input type="checkbox"/> 訪問者名簿を作成する。
	<input type="checkbox"/> 室内での活動となる場合は、1時間に2回以上換気(2方向の窓を数分程度全開など)をする。
	<input type="checkbox"/> お互いに咳エチケットやマスクの着用する。
	<input type="checkbox"/> なるべく正面に立つことを避けるなど十分な身体的距離を保つ。
	<input type="checkbox"/> 適宜手指消毒をする。
活動後	<input type="checkbox"/> 触った箇所の消毒をする。
	<input type="checkbox"/> 終了後、帰宅後の手洗いを徹底する。